

初めての国際会議を終えて

生命体工学研究科生体機能応用工学専攻M1 坪井 直也



平成26年11月2日から6日に島根県松江市で開催された国際会議ISSAに参加してきました。

島根観光

発表が朝早くにあり前泊することになったので、1日目は島根観光をしました。島根県といえば日本百景にも選出されている宍道湖が有名であり、今回宿泊したホテルもすぐ目の前が宍道湖でした。宍道湖は島根県東北部に位置し、面積は国内で7番目に大きく、形状は東西に長い長方形で東西約17km、南北約6km、周囲長47kmの汽水湖です。宍道湖は夕景スポットとして知られ、夕日の沈

む方角に神々の里である出雲大社があり、神秘的な夕日を見ることができました。また宍道湖の近くには松江城があり、堀川めぐりの観光遊覧船がありました。観光遊覧船は国際会議の会場であるくびきメッセまでの道中の堀を遊覧しており、橋をくぐりぬげる際に屋根が下がる様子が確認できました。

宍道湖はしじみが有名であり、漁獲量は全国1位となっています。実際、宿泊先のホテルの周辺に何軒かしじみの絵が大きく描かれている飲食店があり、味噌汁やしじみカレーといった、名産であるしじみを使用した料理を食べることができました。また宍道湖のしじみ以外にも日本海の幸や出雲そばなどの島根名物がメニューに載っていました。

国際学会

肝心の国際学会では、あまり経験のない英語での研究発表を聞くこと

ができました。発表者の外国人が喋る英語の速さについていけず、内容があまり理解できませんでした。しかし質疑応答の際の英語でのやりとりや図の説明、発表の仕方などについて学ぶことも多く有意義な時間が過ごせたと思います。

ポスターセッションでは、私の研究内容に近い研究者の方々や企業の実験手法や解析方法について学ぶことができました。

自らの発表では、研究内容について詰まることなく説明することはできましたが、早口な英語での質問は

聞き取ることができず、返答に時間がかかることもありました。また、質問が分からなかったとき共同研究者の方々に手助けしてもらいました。今回の経験から英語の重要性を再確認することができました。今後の学生生活で英語学習に力を入れたいと思います。

この場をお借りして、国際会議のための研究指導および発表のご指導致いただいた内藤正路教授、並びに奨学金の援助をしてくださった明専会に厚くお礼申し上げます。

(平成26年12月記)

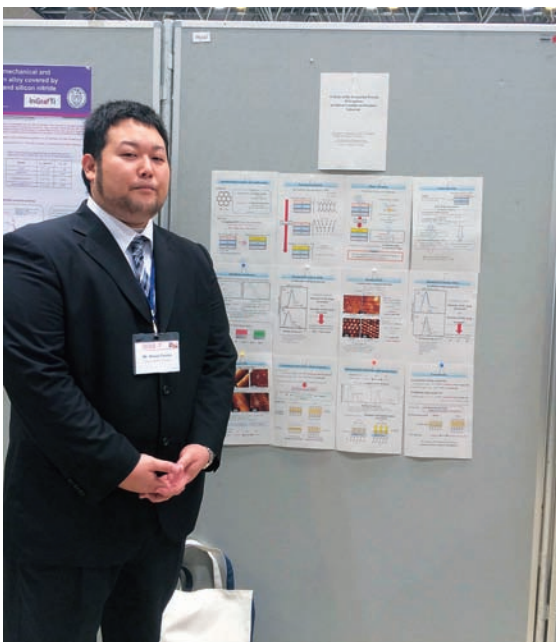


写真-1 発表の様子